

キリスト教の基礎知識 「イースター」

今年も春の訪れとともにイースターの季節がやってきました。イースターはイエス・キリストの復活をお祝いする記念の日で、今年四月九日(日)にあたります。

空の墓

聖書によると、イエス・キリストは十字架につけられて殺され、三日目によみがえりました。当時のユダヤの墓は岩をくり抜いた洞窟のような形になっていて、そこに遺体を収め、やがて肉が腐敗してすっかりなくなってしまう後に骨を回収して専用の容器に入れて最終的に埋葬していました。

イエスの遺体は香料を塗られて亜麻布で包まれ、そのような墓の一つに収められ、入口には大きな石が転がされて蓋をされました。けれども金曜日の日没から始まる安息日には、ユダヤ人たちはいつもの労働を禁じられていましたので、人々はイエスの埋葬のために十分な準備をすることができませんでした。そこで、安息日が明けた日曜日の朝に、何人かの女性たちがさらに丁寧にイエスの遺体に香油や香料を塗るために墓を訪れました。その場面を聖書から読んでみましょう。



さて、安息日が終わったので、マグダラのマリアとヤコブの母マリアとサロメは、イエスに油を塗りに行こうと思ひ、香料を買った。そして、週の初めの日の早朝、日が昇ったころ、墓に行った。彼女たちは、「だれが墓の入り口から石を転がしてくれるでしょうか」と話し合っていた。ところが、目を上げると、その石が転がしてあ

るのが見えた。石は非常に大きかった。墓の中に入ると、真っ白な衣をまとった青年が、右側に座っているのが見えたので、彼女たちは非常に驚いた。青年は言った。「驚くことはありません。あなたがたは、十字架につけられたナザレ人イエスを捜しているのです。あの方はよみがえられました。ここにはおられません。ご覧なさい。ここがあの方の納められていた場所です。」

ここに出てきた「青年」は天使と考えられています。福音書ではこの後よみがえったイエスご自身が弟子たちの前に姿を表すのですが、新約聖書の四つの福音書がみな、イエスが復活した最初のしるしは墓が空だったことだと伝えているのは興味深いことです。空の墓の話はどのようなメッセージを伝えようとしているのでしょうか。



死は終わりではない

「ゆりかごから墓場まで」「墓場まで持つていく」等の慣用語でも分かるように、墓は私たちの地上の人生の終点、死を象徴するものです。いったん墓に収められると、もうそこから出てくることはできません。墓は死の最終性と不可逆性を表しています。

十字架で息絶えたイエスは、他のすべての死人と同様に墓に収められました。このことは、イエスが確かに死を体験したことを意味しています。けれども三日目に驚くべきことが起こりました。その墓が空になっていったのです！ イエスがよみがえ

ったのは、墓の力も彼をつなぎとめておくことができなかつたことを示しています。自分の人生はもう終わりだ、「墓穴を掘ってしまった」という人もおられるかもしれませんが、けれども聖書は、何が起こっても、たとえ死んでしまったとしても、たとえ死んでしまったとしても希望があることを教えています。このイースターに、ぜひお近くの教会を訪れて、復活のイエス・キリストと出会ってください。



聖書を読む会(創世記第四章)

「カインとアベル」

創世記の3章から4章にかけて、全ての時代の全ての人々に、つまり私たちを含めてですが、2つの大切な問いが投げかけられています。

第一の問い

3章9節「神である主は、人に呼びかけ、彼に言われた。『あなたはどこにいるのか。』」

一つ目の問いは「あなたはどこにいるのか」です。

これは今の私たちにも問いかけてられています。

神様と向かい合い、神様を見上げておられるかが問われています。あなたはこうして礼拝に集まっているのか、あなたの方の心は、わたしを見上げておられるのか、わたしの声を聞いておられるのか、わたしを主人公にしているのか、世界の主人公は神であることを、あなたがたは知っているのか。「あなたはどこにいるのか」と言いつつ、私たちと神様との関係がいつも問われているのです。

第二の問い

4章9節「主はカインに言われた。『あなたの弟アベルは、どこにいるのか。』」

二つ目の問いは「あなたの兄弟や姉妹はどこにいるのか」です。

カインは、これに対してふてくされたように「知りません、私は弟の番人なのでしようかと応えます。これはすでにカインがアベルを殺した後です。彼は偽りを言い、そしてそっぽを向いているような言葉を言うわけです。

神様は、それに対して「そうだが、もちろん、あなたがたは互いに番人なのだ。番人という言葉が悪ければ、互いにケアし合う、守り合う、見守り合う、そういう存在なのだ」見守りあい、支え合い、愛し合う、そのために、わたしはあなたがたを二人で置いたのではないかと。神様の心はそういう心であったと思ふのです。

神様は私たちを互いに支え合うために、造って下さいました。祈り合うために造って下さいました。そういう私たちの相互の交わりは、罪によって歪められてはいますが、神様はそれを惜しんで、私たちの交わりを回復させようと招いておられるのです。

★天文ひとくちメモ

二〇二一年クリスマスに打ち上げられ、地球から百五十万kmの彼方で二〇二二年七月より観測を開始した、ジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡(JWST)。目覚ましい成果を挙げつつありますから、JWSTで画像検索してみてください。筆者の感想は「生きててよかったです！」かな。

今、夕方の西空で金星がきれいですね。四月から五月にかけて日没時の地上高度が四〇度近くになるので、夜一〇時頃まで見えていますよ。四月一日には、おうし座のプレアデス星団(すばる)と二度(満月の四倍)まで接近しますから、双眼鏡をお持ちならぜひご覧になってください。プレアデスを見たことのない方には、金星をまじり導入し、その北(右)に視野を振れば見られますからチャンスです。

さて、春です。数多くの一等星がにぎやかな冬の星座も西へ傾き、春の星座は明るい星も少ないのですが、それは春の夜空が私たちの住む天の川銀河の直角方向に当たるため。深宇宙へ開かれた窓のように、もつと遠方にある銀河(数千億個の恒星の大集団)はむしろ多く見えるはずなのです。肉眼で見えない銀河を想像しつつ、春の一等星を探しましょう。南の空高く、しし座のレグルスは白色、東の中天に明るいオレンジ色のうしかい座アルクトゥルス、南東の低空には白くやや暗いおとめ座のスピカ。北の中天に北斗七星のひしやく型と北極星を見つけたらコンプリートですね。



無料でダウンロードできる スマホアプリ

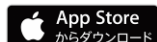


聴くドラマ聖書

Japanese Drama Bible

Grace & Mercy

日本 G & M 文化財団



聴くドラマ聖書 PC版 : <https://dramabiblejapan.org>

＜定期集会所案内＞

- 主日礼拝 毎週日曜日 午前10時30分
 - ★一週間の始まりを、まことの神礼拝から。初めての方も歓迎です。新型コロナ感染防止対策に努めながら少人数での礼拝を実施しています。聖書や讃美歌集はお貸します。
 - 参加をご希望の方は事前にご連絡をお願い致します。
- 祈禱会 第2第4水曜日 午後7時30分
 - ★新型コロナ感染拡大防止の観点から、現在は休止しています。再開の情報はホームページまたは下記の間合せ先にご確認ください。
- みことばの分かち合い 第1日曜日 礼拝後(変更になる月があります)
 - ★聖書をみんなで読み、学んだことや感想を分かち合い、深く味わう会です。お問い合わせは、電話045-572-0857 牧師:関野祐二までどうぞ。